

保育士の専門性とキャリアコミットメント —保育士の属性と専門性認知について—

○太田 仁 (梅花女子大学)

阿部晋吾 (梅花女子大学)

キーワード：保育士，属性，専門性認知

問 題

保育士の職務継続と専門性の向上を意図した保育士のキャリアパス構想(厚生労働省, 平成 28 年(2016))では「乳児保育」、「障がい児保育」、「子育て支援」、「社会的養護」、「食育」、「保健衛生」の6分野の領域別専門職の育成を想定している。専門職研修の対象となるのは各保育所での勤続年数が概ね7年以上の保育士とされている。しかし、保育士の半数は5年以内に離職している現状がある(厚生労働省, 平成 25 年)。保育士の専門性を高める研修が保育士個人と保育現場の双方においてその有用性が認知されるためには、現職の保育士が日常の保育や職務を通じて個人の専門性や職場環境をどのように認知しているかについて検討する必要がある。本研究では、現職の保育士を対象に専門保育士に求められる6分野の認知と職場環境の認知について探索的に検討する。本報告では、その端緒として6領域の実践項目に対する保育士の自己評価について報告する。

方 法

質問紙調査；現職保育士 387 名に対して、質問紙を配布し回答後配布した封筒にて郵送返送を依頼した。回収数 285 回収率 73.6%。不備があった質問紙を除き 261 名を分析対象とした。対象者属性；現職保育士 261 名平均年齢 36SD12.4(男性 17 名平均年齢 31SD11 女性 244 名平均年齢 36SD12.5)；勤務形態；常勤 86%非常勤 14% 質問紙の構成；保育士のキャリアパス構想における6領域(前掲)における具体的項目各6項目計36項目(Table1参照), 保育士の職務満足感尺度17項目, 職場満足度尺度23項目(以上二つの尺度は日本労働研究機構, 2003「組織の診断と活性化のための基盤尺度の研究開発—HRM チェックリストの開発と利用・活用を参考に作成)

結果と考察

調査対象者の属性から各保育園で男性保育士は2名程度であること, 勤続年数5年未満の保育士が多いこと, 半数が未婚で自身には保育対象とする子供と同年代の就学前の子供がいないと回答した保育士が72%であった。以上から保育士の就労状況が未婚で就学前の子供のいない女性で勤続年数は5年未満で就学前の子育てをしながら保育士を続けること難しさが窺える。保育士の専門6領域に関する実践項目について、現職保育士13人と筆者らにより作成した、項目について「実行していない」1から「実行している」

5までの5段階で回答を求め、項目毎の平均値、標準偏差を算出し36項目すべてを用いて、因子分析(主因子法プロマック回転)を実施した。その結果、固有値1以上の因子が4つ認められた。各因子は保育性の専門領域と対応しつつも幅雑しており、保育現場での実践を反映していると考えられる。具体的に第一因子(12項目 α .932)は、食育・障害児保育に関する項目を含むことから「発達支援」第二因子(9項目 α .884)は、保健衛生を含み子育て支援に関する項目を含むことから「子育て支援」第三因子(11項目 α .855)は乳児保育を中心に社会的養護・子育て支援を含むことから「乳児保育」第四因子(4項目 α .744)は、社会的養護に関する項目を中心に子育て支援を含むことから「社会的養護」と命名した。下位尺度の内部一貫性については、上記のとおり α 係数が得られた(Table1参照)。

Table 1 専門保育士の実践項目に対する保育士の認知構造

専門保育士実践項目	発達支援	子育て支援	乳児保育	社会的養護	mean	SD
3) 子供の食事に気を配った保育や栄養指導を行っている	.918	.147	.010	-.090	3.19	1.24
4) 子供の健康・衛生に関する情報を収集している	.913	.082	-.013	-.067	3.29	1.22
7) 他の関係機関と子供のケース検討会議等を通して連携を取る	.814	.304	-.197	.054	2.88	1.21
6) 子供の発達を援助するため保護者と連携する	.788	-.074	-.047	.068	3.68	1.21
5) 発達に合わせた離乳食の提供をして、母乳へと導く	.759	.262	-.056	-.037	3.32	1.34
9) 発達のために子供や障がいのある子供への正しい理解と判断をする	.745	-.168	-.015	.100	3.33	1.12
8) 子供の成長に促して発達を援助する	.695	-.309	.025	.106	3.63	1.26
2) 子供の発達に合わせた玩具を提供する	.654	.040	.076	-.019	3.48	1.00
1) 子供の毎日の食事の様子を把握する	.644	-.120	.136	-.066	3.5	1.22
11) 子供の喜怒哀楽に共感する	.507	-.344	.218	.087	3.89	1.12
10) 一人ひとりの子供の個性に応じた援助をする	.490	-.245	.198	.020	3.73	1.03
26) 子供の発育に大切な食体験を援助する	.337	.070	.144	.303	3.38	0.98
22) 子育て・福祉に関する関係機関と情報交換や相談をする	.153	.961	-.044	-.113	3.24	1.23
21) 親に対して全ての子供の発達過程にそった環境整備・感染症予防の知識により健康で安心・安全な生活を送るための指導をする	.175	.790	.228	-.132	3.62	0.91
17) 地域と連携して子育て文化を継承する支援をする	-.128	.672	.049	.113	2.92	1.28
30) 保護者の栄養指導や相談援助をする	-.207	.634	.159	.025	3.33	1.17
20) 利用できる社会制度やサービスを知っている	.053	.611	.245	-.052	3.14	0.96
31) 保護者を支援するために関係機関との連携を図り、コーディネートする役割を果たす	.194	.588	-.256	.489	2.66	0.98
16) 子育てについて通信やHP・園のブログなどで社会へ発信する	-.068	.476	.098	.152	2.66	1.29
34) 困難家庭への訪問や面接を行いながら、親との信頼関係を深める	-.163	.454	-.082	.399	3.03	1.14
15) 園に在籍する以外の地域の親子との交流を促進する	-.096	.343	.165	.298	2.9	1.09
19) 子供に対する十分な愛情表現をする	.025	.078	.771	-.329	4.3	0.64
14) 正しい育児方法に基づき夜がせつける	.048	-.099	.610	.148	3.75	0.84
13) 子供のバリエーションに的確に判断し、対応する	.063	.126	.601	-.124	3.74	0.68
12) オムツの替え方等においても正しい育児を実行する	.034	.041	.589	.004	4.09	0.79
23) 子供をけがや感染から守るための安全・衛生に関する知識により指導する	-.022	.368	.556	-.018	3.82	0.81
25) 不適切な子育てを早期に発見する	-.084	.289	.465	.147	3.53	0.80
24) 子供が社会との関わりの中で生きていけるように援助ができる	.107	.280	.443	.049	3.57	0.76
36) 子供の病状やけがについての的確で迅速な対応をする	.138	-.196	.411	.340	3.83	0.78
18) 子供の健康状態、発育、発達状態、栄養状態、食生活の状況を把握し、適切な指導を行う	.044	.012	.393	.360	3.6	0.94
29) 保護者同士の子育てに関して共感する	-.071	.053	.351	.311	3.61	0.88
35) 地震や災害などの緊急時の対応ができるように準備をしている	.040	.084	.327	.187	3.74	0.83
28) 健全な家庭形成に向けて助言する	.096	.001	-.078	.817	2.96	1.02
33) 困難家庭の保護者の子育てを支援する	.014	.140	-.130	.735	3.05	1.07
27) 園児を含む家族全員が健康な家庭生活の支援をする	.139	-.004	-.053	.703	2.96	1.07
32) 虐待を見抜く	-.209	.110	.218	.474	3.4	0.91
n=261	1発達支援	1	-0.408	0.409	0.427	
	2子育て支援	-0.41	1	0.18	0.235	
	3乳児保育	0.409	0.18	1	0.579	
	4社会的養護	0.427	0.235	0.579	1	